

道路技術小委員会
トンネル分野会議
(非常用施設)
報告

道路技術小委員会 トンネル分野会議(非常用施設) 座長報告

- ◇ 道路トンネル非常用施設設置基準の改定にあたり、「トンネル分野会議(非常用施設)」において、専門的知見から検討したのでその状況を報告する。

- ◇ トンネル分野会議(非常用施設)の論点として、
 - ① 避難通路と排煙設備の役割と設置条件の明確化
 - ② 運用・連携等のソフト対策の強化
 - ③ 新技術活用に向けた環境整備、その他最新の知見の反映などについて、審議を行ってきた。

- ◇ これらの検討事項について、トンネル分野会議(非常用施設)では、以下のような意見があった。

【トンネル分野会議(非常用施設)における主な意見】

①避難通路と排煙設備の役割と設置条件の明確化

- ・これまでの知見や海外の動向等を参考に、本基準及び各非常用施設の考え方を整理すべきである。

②運用・連携等のソフト対策の強化

- ・ハード対策が効果を発揮する前提として、ソフト対策は重要である。
- ・ソフト対策の明確化にあたっては、当該道路の管理体制等に配慮すべきである。

③新技術活用に向けた環境整備、その他最新の知見の反映

- ・新技術の導入や将来の技術革新を妨げない条文とすべきである。
- ・一方で、実用化の程度や性能のバラツキに留意すべきである。

- ◇ 以上の意見を踏まえ、「道路トンネル非常用施設設置基準」の改定案を作成した。

道路技術小委員会 トンネル分野会議(非常用施設)

【有識者】

◎ 西村 和夫 首都大学東京 理事長・学長特任補佐

◎:座長

川端 信義 公立小松大学 生産システム科学部 教授

真下 英人 (一社)日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所所長

水野 明哲 工学院大学顧問 名誉教授

【実務委員】

加藤 晃一 総務省 消防庁 特殊災害室長

伊藤 哲男 (株)高速道路総合技術研究所 トンネル研究担当部長

若林 登 首都高速道路(株) 土木技術担当部長

日下 敦 (国研)土木研究所 道路技術研究グループ 上席研究員

七澤 利明 国土交通省 国土技術政策総合研究所 構造・基礎研究室長

藤原 浩幸 国土交通省 中国地方整備局道路部 道路保全企画官

【オブザーバー】

砂金 伸治 首都大学東京 都市環境学部 教授

【審議状況】

第1回 平成29年 9月27日

第4回 平成30年12月 6日

※第2回, 第3回及び第5回はトンネル分野会議(点検要領)